

令和3年8月 文書質問及び回答

1 質問者 春日隆司議員

2 質問事項 ヒグマ出没事案への対応について

質問の内容・要旨	回答
<p>ヒグマ出没事案に対する対応等については、関係者及び関係団体等のご尽力に感謝申し上げますとともに敬意を表させていただきます。</p> <p>ヒグマ出没については、通報されないものも含め、町内のいたるところで見受けられる。道内では人的被害も多発している。</p> <p>特に、今年は市街地周辺や民家周辺への出没が頻繁に起こっており、従前と違った出没実態であると考えられる。町民の安全、安心を脅かす(危険な)事態が身近に迫っているともいえる。いつ、中心市街地に出没しても何ら不思議ではなく、町民の不安も増大してきている。(町民の声)</p> <p>① ヒグマ出没の実態をどのように把握、承知されているか。 (通報されていないものも含め)</p> <p>② 多様な実態を踏まえこれらに対処出来、町民の不安を払拭し、安全、安心を確保するための新たな対策、体制を喫緊に整備し取り組む必要があると考えるが如何か。</p> <p>③ クマ出没は下川町だけの問題ではなく、社会全体の問題である。クマは森林生態系を代表する動物ともいわれている。SDGsの観点からも、問題と課題の解決に向け、北海道、国などの動きと情報を入手し連携を図る中で、政策として調査研究と実装に着手してはどうか。</p>	<p>「ヒグマ出没事案への対応について」回答します。</p> <p>①の「ヒグマ出没の実態をどのように把握、承知されているか」につきましては、住民による通報以外の情報として、現場周辺の住民からの聞き取り、町・名寄警察署・地元猟友会の巡回、センサーカメラ等による情報により把握しております。</p> <p>②の「多様な実態を踏まえこれらに対処出来、町民の不安を払拭し、安全、安心を確保するための新たな対策、体制を喫緊に整備し取り組む必要があると考えるが如何か」につきましては、下川町鳥獣被害防止計画のヒグマ捕獲頭数の見直しを行い、問題個体を速やかに駆除するための対策を検討するとともに、捕獲従事者の担い手育成を強化し、ヒグマの出没に対して迅速に対応できる体制を整備して参ります。</p> <p>また、里山と市街地の進入路に緩衝帯や電気柵の整備を推進することにより、ヒグマの市街地への侵入防止が図られるよう検討して参ります。</p> <p>なお、北海道のヒグマの生息数が増加していることを踏まえ、北海道に対し道内におけるヒグマ狩猟期間の延長を行う等、ヒグマ生息数の適正水準を維持するための方策を早期に策定するよう強く要望するとともに、町としても地元の猟友会の協力のもとヒグマは4頭を駆除しておりますが、今後におきましては10頭程度まで増やすことができるよう検討して参ります。</p> <p>③の「SDGsの観点からも、問題と課題の解決に向け、北海道、国などの動きと情報を入手し連携を図る中で、政策として調査研究</p>

と実装に着手してはどうか」につきましては、これまで町・地元猟友会でヒグマの生息状況や出没したヒグマの行動分析・侵入経路等の調査を行っておりますが、今後必要に応じて、国や道などの関係機関が実施した調査内容を研究して参ります。